

今日は、私の友達が趣味で書いた小説を紹介します。
もちろん出版などはされていませんので、お気を付け下さいね。

【小説タイトル】

小説タイトルは「分身」です。

【主人公のプロフィール】

主人公の名前は [田中佑輝](#)、医療系の高校に通う高校2年生の17歳。

校内の学力テストではいつもトップであり、海外の有名大学からスカウトがくるほどの天才少年である。

【本編】

ある日、主人公である [田中佑輝](#) は、いつものように学校に通学する。

しかしその日は大雨により、足元が悪い状況であったため、足を滑らせ後頭部を強打してしまいます。

しばらく意識を失っていたが、幸い大怪我をすることもなく助かったのだが、しかし目を覚ますと、そこには驚愕の光景が広がっていた。

そう、もう一人の自分、いや、もう四人の自分がそこに倒れていた。

どうやら、頭を強打したことにより、自分自身の「喜怒哀楽」が、それぞれ個別のものへと分裂し、4人（自分を含めて5人）の [田中佑輝](#) がこの世に存在してしまうことになるのです。

「喜」の感情しか表現できない [田中佑輝](#)。

「怒」の感情しか表現できない [田中佑輝](#)。

「哀」の感情しか表現できない [田中佑輝](#)。

「楽」の感情しか表現できない [田中佑輝](#)。

主人公である、頭を強打する前の [田中佑輝](#) は、「喜怒哀楽」のどれになったのかというと、どうやらどの感情にも含まれていないらしい。

どうやら、頭を強打する前の [田中佑輝](#) は、驚きという意味で「驚」の感情しか表現できなくなってしまう。

だから小説本編では、すべての発言が常に驚いています（笑）

「驚」の感情しかもたない [田中佑輝](#) は、自分自身の「喜怒哀楽」を取り戻せるのか！

痛快ウルトラギャグコメディ作品「分身」、ぜひ皆さんに読んでもらいたい作品です（書店に置いてないから無理ですね）